

皆様一人ひとりが、
希望を持ち、活躍できる社会へ

南島原市議会議長 中村 一三

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた平成28年の新春を、晴れやかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。年頭に当たり、南島原市議会を代表いたしまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日ごろから、市議会に対し温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。さて、昨今のわが国をとりまく経済状況は、デフレからの脱却を目指した国の経済政策により、一定の改善がみられ、景気の復調の兆しが見え始めたかと思われたものの、個人消費の伸びや企業業績の改善は道半ばであり、その効果が投資や消費の拡大につながるという「経済の好循環」にまでは及ばず、地方においては、今なお厳しい経済状況にあるといわざるを得ません。

このような中、国においては、昨年より「地方創生」に向けて本格的な取り組みに着手し、日本社会の構造的課題であった少子・高齢化の問題に、真正面から取り組む姿勢と具体的な政策を打ち出しました。急速に進展する少子・高齢化により、地域社会における人口減少、若年労働者層の市外転出など「自治体消滅の危機」が叫ばれる今日、「地方創生」にいかに取り組むか、基礎自治体である市町村の役割は、大変大きいものがあります。本市でも、昨年10月、経済の好循環を確立することで、地方への新たな人の流れを生み出し「まち」に活力を取り戻すことに取り組むために、「南島原まち・ひと・

しごと創生総合戦略」を策定しました。本市の人口構造は、20歳から30歳台にかけての若い世代の年齢人口が極端に少なく、老年人口が多い構造となっていることから、毎年出生数、転入よりも死亡、転出の増加による人口減少が続いている状況であり、この「総合戦略」において、減り続ける人口に歯止めをかけ、本市の人口を2060年時点で3万人以上を確保することを目標に今後、議会としても、総合戦略に掲げられた各種プロジェクトの推進のため、市とともに全力で取り組んでいく所存であります。

また、昨年10月、大筋合意がなされた環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)も、農業が基幹産業である本市にとって、その影響がどのようなものとなるのか先が見通せない状況であり、今後とも注視する必要があります。さらに、これまで合併による優遇措置が図られてきた本市の普通交付税は、平成28年度からは段階的な縮減が行われることとなり、最終的には、平成33年度から優遇措置がなくなることも留意しておかなければなりません。本市においては、これまでも行財政改革に取り組んでいますが、財政構造の脆弱さは、いまだ改善されておらず、引き続き、無駄を省き、将来の健全な財政運営を目指して、強固な財政基盤を構築することが課題であると考えております。

含む「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界文化遺産への登録を、市民の皆様が報告できると確信いたしております。その暁には、本市の構成資産の価値を、国内外の皆様がPRしていけるよう市と一体となって、取り組んでまいりたいと考えております。

一方、市議会においては、昨年12月の定例会から、より議論を深めることで「議会の活性化」につながることを目指して、一般質問の方式を、「一括質問・一括答弁方式」と「二問一答方式」の選択制とすることを、試行的に採用しました。また、「議会だより」の紙面レイアウトの見直しや採決一覧の掲載、紙面のカラー化を図るなど、市民の皆様が、議会審議の内容や採決結果がよりわかりやすく、議員活動を身近に感じていただけるようにしました。私も議員一同、議会での活発な議論は、必ずや市民の政治参加に結びつき、これからのまちづくりに必要な不可欠なものであると考えております。

今後とも、その役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに、活力と思いやりのある南島原市の実現に向け、更に創意工夫を重ね、豊かで住みやすいまちづくり、皆様一人ひとりが希望を持ち、活躍できるまちづくりを目指し、全力を尽くしてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年が輝かしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

D-51 機関車概要
(機関車+炭水車)
全長 約20m 高さ 約4m 幅 約3m

入場
無料

本市で製作された「原寸大ダンボール機関車 D-51」は「南島原市から世界遺産を」の言葉と共に約1年半かけて全国8都市15カ所を巡回し、ふるさと南島原へ帰ってきました。今回は昨年6月に開催され大好評だった企画の里帰り展となります。原寸大段ボール模型の迫力を是非間近で体感してください。来場者には、もれなく記念切符も準備していますので、蒸気機関車に興味をお持ちの人も原寸大段ボールアートに興味をお持ちの人も奮ってご来場ください。

南島原市市制施行10周年記念事業・「南島原から世界遺産を」世界文化遺産登録推進事業

D-51 蒸気機関車段ボール模型 「ふるさと南島原」帰還展

とき 1月8日(金)～11日(月・祝)
9:00～20:00(8日のみ 10:00～20:00)

ところ ありえコレジヨホール

公開組立 1月7日(木) 9:00～17:00

公開解体 1月12日(火) ※公開組立・解体はホール2階席からの見学となります。

イベント

- 幼児用段ボール迷路
- D-51全国巡回展写真展
- D-51ぬりえコーナー
- 蒸気機関車上映

段ボールアート教室

10日(日) 開催 ●持参品…カッター
①10:00～11:30 図各10人程度(小学5年生以上)
②13:30～15:00 図無料
図商工観光課に申し込んでください。

図商工観光課 ☎050(3381)5032

制作者 しま ひで お
段ボール工芸家 島 英雄さん
昭和24年(1949)東京生まれ。25歳で建築設計事務所を立ち上げる。47歳で病に倒れ余命宣告を受けるが回復。60歳で後進に事務所を譲り南島原市に移住。鉄道車両の原寸模型を作るという子どもの頃からの夢を実現しようと決める。設計に約2年、その後約4,000個の段ボールを使い10カ月かけてD-51蒸気機関車の原寸模型を完成させ、全国各地で巡回展を開催。



ふるさと南島原に帰ってくる！

あの原寸大ダンボール模型が

南島原 → 未来行き
ふるさと南島原
D-51 蒸気機関車
原寸大ダンボール模型里帰り展
ありえコレジヨホール 駅
ありえコレジヨホール